

正角化歯原性嚢胞の臨床病理学的解析に関する研究

1. 研究の対象

2012年4月～2022年3月に当院で病理組織検査を受けた方のうち、正角化歯原性嚢胞あるいは嚢胞と診断された18歳以上の方

2. 研究目的・方法

顎の骨の内には、様々な種類の嚢胞病変（ふくろ状の病変）が発生します。嚢胞の種類により、治療方針が異なってくる場合があります。しかし、嚢胞はしばしば似たような形をとり、診断が難しい症例もあり、治療方針決定のためには正確な診断が重要となってきます。今回の研究では、正角化歯原性嚢胞と他の嚢胞病変の蛋白質発現や形の違いを比較することで、診断精度の向上や予後の推定に貢献できるものと考えています。

研究期間を2022年4月から2025年3月までとします。大阪大学歯学部附属病院の病理診断結果のもとに、臨床情報と病理所見に関する情報のデータベースを作成します。それをもとに病理組織検体から形態学解析、蛋白質発現の検討を行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

この研究はあなたの診療情報・診療で得た病理組織検査の残余を用いるため、とくに不利益はないと考えております（下記参照）。

- ・使用情報：年齢、性別、病歴、治療歴、診療録
- ・使用試料：生検あるいは手術で得られた病理組織検体（診断が完了しているもの）

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-8

大阪大学大学院歯学研究科病因病態制御学講座（口腔病理学教室）

Te1：06-6879-2892

研究責任者：廣瀬 勝俊